

令和5年度 学校関係者評価報告書

専門学校ファッションカレッジ桜丘は「夢の創造」・「文化の創造」を提供し続けるエクセレント・カレッジ (excellent college) を目指すことを標ぼうし、夢を創造し、文化を創造することが、ファッションを教授する服飾系高等教育機関の基本と考える。

専門学校ファッションカレッジ桜丘自己評価の結果に関して客観性と透明性を高めるとともに、学外の有識者から専門的助言を受け、外部評価を得ることを目的として学校関係者評価を実施しましたので報告致します。

1、実施年月日 令和6年3月31日

実施校 専門学校ファッションカレッジ桜丘

2、学校関係者評価委員

小野芳行 (元YKK株式会社)

椎野伝一 (有限会社丸伝代表取締役 流通総合コンサルタント)

西室充子 (卒業生 日本ファッションクリエイター協会)

学校関係者

関 太 (校長)

岩寄達弥 (事務長)

菊池伊都子 (教務部長)

3、評価方法

令和5年度 専門学校ファッションカレッジ桜丘自己評価報告書に対する
学校関係者評価

4、評価項目

- (1) 教育理念・目的・人材育成
- (2) 学校運営
- (3) 教育活動
- (4) 学習成果
- (5) 学生支援
- (6) 教育環境
- (7) 学生の募集と受入れ
- (8) 財務
- (9) 法令等の遵守
- (10) 社会貢献・地域貢献

令和5年度 自己評価報告書

学校法人桜丘学園 専門学校ファッションカレッジ桜丘

基準1. 教育理念・目的・人材育成

桜丘学園は豊かな人間性を身につける「人間教育」を重視している。いかに多くの専門的な知識を身につけても、人間的な魅力が無ければ職業人として大成することは叶わない。人間的な魅力を高めるにはいかに多くの友人を作り、コミュニケーションを図ることで信頼関係が醸成され相互に人間的な魅力が高まると思う。新型コロナウイルスの影響で高校生活の3年間リモート授業や学校行事が中止または縮小する中で過ごしてきた影響で、コミュニケーションの機会が減り、個人主義が台頭した。進学後の学園では学内行事の充実を図り、失った期間を取り戻すべく、教育環境を充実することに注力した1年だった。

基準1. 教育理念・目的・人材育成に関する関係者評価

※今の若年層には、あまり知識欲というものが感じられません。それは幼少期からの教育が知識というものをないがしろにして来た付けが回ってきているように思います。「頭でっかちは良くない」「思考よりまず行動」といった風潮が子供たちの学ぶ意欲や知識に対する価値観を阻害してきたからではないでしょうか？桜丘では今一度社会に出た時に役立つ社会全般や経済、法律などの面の最低限の知識を身につけさせるべきだと考えます。「知らないと世の中では損をする」ということを認識させる。「学校での勉強は社会に出てからは役に立たない→だから勉強する必要が無い」という悪循環を断つべきです。学校での学びが役に立たないと思うのは、その知識や技術を必要としない職(誰にでもできる仕事)に就いているに過ぎないということ、入学当初から知らしめることこそ、専門学校としての教育理念だと思います。

※桜丘は昔から豊かな人間性を身につける事を大切にまいりました。今まで生きて来て感じる事、それは多くの友人に恵まれていた事。幸せに思っています。人間育成、目的は将来必ず役に立つ。また本人自身も心豊かに思い、役に立つ事があります。人間教育重視は大切です。良い学生を育てて下さい。

※学園の教育理念は不変であるが、取り巻く環境の変化などへ鋭敏に対応し、桜丘学園が更なる高みを目指し、「人間教育」を重視した教育を通し専門知識を有する人間教育の実践を図って欲しい。また コロナ禍で高校生活を送った学生たちが多く入学された令和5年度では学内行事の充実などを図っていただとのこと、教職員の皆様方 さぞご足労も多かったことと推察いたします。

基準2. 学校運営

18歳人口減少が続く中、ファッション専門課程の在校生数は前年度とほぼ変わらず確保できたが、留学生は新型コロナウイルスの入国制限の影響を受け、デジタル専門課程の在校生数が減少し、厳しい予算編成となった。しかし、期中株式市場が日米ともに比較的堅調に推移し、保有金融資産の上昇による運用益により、学生数の減少による学納金不足を補うこ

とができた。令和6年度の学生募集もリサーチと検証を重ね、新たな募集施策が効果を発揮し、大幅な出願者の確保につながり、令和6年度の安定経営の基盤を作ることができた。

基準2. 学校運営に関する関係者評価

※入学志願者が増えたということを単に在学者数の増えると考えるのではなく、志願者増＝厳しい選抜が可能と捉えるべきではないでしょうか？

誰でも入れる学校ではなく、入るのが難しい学校というブランディングをするべきです。厳しい選抜を行えば、より優秀な学生の確保も可能になり、桜丘が他の専門学校に比べ、選抜が厳しく難関校というイメージを植え付けるメリットもあります。また難関を突破して入学したとなれば、学生のプライド意識も上がり、勉強へのモチベーションも向上するに違いありません。企業の採用担当者の桜丘の卒業生に対する評価も上がるはずです。※在校生が前年度と変わらず入学された事、良かったと思います。現在は時代とともに子供たちが減少しているので気になります。私も良く心配したものです。大幅な出願者との事、安心しました。アイドルグループとのつながりは、また新しい勉強になります。

※理事長を初めとした教職員の皆様方の多大なる尽力により、ファッション専門課程では前年同様の生徒さん方の確保達成とのこと。本当にご苦労様でした。留学生は新型コロナウイルス影響からの脱しきれなかったとのことですが、次に向けた施策を的確に打たれたとのこと、必ずやこの施策が生きてくるものと推察いたします。年々変化が早くなる社会環境などに於いて、5年後を想定した、中期計画を立案するのは大きな困難を伴うことと思いますが、健全な事業運営を図るためには、多少の修正はあっても大きな見通しを最大限活かした計画の立案を図って欲しい。

基準3. 教育活動

SDGsへの理解を深めるため、SDGsの普及活動を行っているアイドルグループとステージ衣装製作で提携。ファッションメーカーから廃棄素材の提供を受けて、衣装を製作し、ライブ活動に於いてSDGsの普及活動と共に学生の理解を深めることができた。また、セルフブランディングの授業では、各界第一線で活躍している起業家、ビジネスパーソンを講師として招き、職業観、価値観、多様性を身につけることができた。

基準3. 教育活動に関する関係者評価

※SDGsの普及活動に取り組む姿勢を見せることは学校のイメージアップにつながり引き続き推進していくべきですが、一方でSDGs運動の陰の部分も合わせて教育すべきだと思います。SDGs運動を単なる企業ブランディングとしか考えない企業や途上国への経済的搾取や過重労働の実態なども情報提供し、多面的な見方ができる社会人の養成に努めるべきだと考えます。

※アイドルグループとのつながりは、また衣装の勉強ができ学生にとっては良い勉強ができる事だと思います。学生にとっても楽しいと思います。各界第一線で活躍している講師から講義を受けられる学生は幸せだと思います。学校の将来が楽しみになりました。

※大きく言えば地球規模での環境問題などに取り組む、SDGsへの取り組み・実践は欠かせないものになってきています。学園に於いては、これへの取り組みを実践され、更に

学生への理解の深耕を果たしておられるとのこと、これは実践・理解の深耕など多岐にわたって継続的に必要且つ最重要課題と思います。学園・教職員・生徒等包括的な取り組みの継続・拡充を図ってください。

基準4. 学修成果

学習成果の可視化の一環として実施している各種検定受験推進は継続している。ファッションクリエイト科が受験するパターンメイキング検定3級は昨年に続き1年生は全員合格し、2年生も今回は全員合格した。検定に対する前向きな姿勢は継続している。2級は技術科の3年生は全員合格し、2年生の合格率は50%であった。ファッションビジネス科の1年生のファッション販売能力検定3級は合格率86%、昨年82%から上昇。2年生の3級は合格率36%、昨年の25%と低位ではあるが改善した。1年生が受験するファッションビジネス能力検定3級は合格率43%、昨年30%から若干改善。2年生の2級は合格率20%、昨年27%とファッション販売能力検定同様に低迷している。色彩技能パーソナルカラー検定モジュール1、の合格率は87%、モジュール2は67%と高い合格率を確保した。産学協同プロジェクトでは、インナーメーカーの株式会社ハクタカと新たなインナーの提案を行い、マーケティング、リサーチから最終プレゼンテーションまで実践形式で学習することができた。2月29日に開催した桜丘ファッションショーは5年ぶりに通常通りの開催で2回公演を行った。1回目の公演前には、アイドルプロデュース衣装製作で作成した、アイドルグループ青山ラビネスのステージ衣装をライブで公開し、ファッションショーを盛り上げた。また来場できない方々へ広く学習の成果をご覧いただくためInstagram LIVE配信を昨年に続き実施した。

基準4. 学修成果に関する関係者評価

※各種検定に関しては例年指摘している点ではあるが、果たして就職活動、就職後の給与アップなどに繋がっているのだろうか？従来の検定に拘らず、企業からどんな検定や資格が入社後に役立つのか？という聴き取りを行い、その返答に従った新たな検定試験を選ぶべきだと思います。

産学共同では、クリエイティブ科の分野ではある程度の成果が上がっているように見えるが、ビジネス科ではもっとビジネスモデルの提案など、実際のビジネスに結びつくようなテーマ設定ができないのだろうか？現状は単なるアイデア提案に過ぎないように思えますが。

※クリエイト科学生の合格もうれしいニュースです。ビジネス科の学生は社会に出てからの勉強が多いと思います。実際に経験して分かってくるものと思います。

※学習成果は可視化が可能であり、明確な数値目標も可能であるので、この設定（より高みを目指した）と検証と成果を向上させる教育指針の設定などを図って欲しい。結果に於いてはパターンメイキング検定3級、ファッション販売能力検定3級、カラー検定モジュール1・2に於いても高い合格率を確保。ビジネス能力検定、ファッション販売能力検定では厳しい実態。高い合格率の検定に於いては更なる高みを目指し、低迷している検定に於いては抜本的な改善策を含めた施策などを勘案して頂き、大いなる飛躍を期待してお

ります。

基準 5. 学生支援

1年生の32%、2年生の35%が奨学金や就学支援制度を必要としている。令和5年度も高等教育の就学支援新制度の認定を受けて金銭面での学生の支援体制を充実させることが出来た。また、就職支援に関しても昨年に続き、会社説明会は、ほぼオンライン形式。1次面接もオンライン形式の企業が多く、学内施設、設備を使っての就職活動の支援を継続しておこなった。就職決定率は、技術科88%、ファッションクリエイト科及びファッションビジネス科100%（一部アルバイト採用含む）と大きな成果をあげた。

基準 5. 学生支援に関する関係者評価

※成績優秀者への支援と一般学生へのそれとにもっと格差を設けてはどうか？
成績優秀者への優遇(学費全額免除や給付型、無利子等)を提示し、1年ごとに成績での見直しをするという体系にすれば、学びへのモチベーションは向上するはずです。

基礎教育ではなく高等教育なのですから、悪平等な考えではなく頑張れば報われるという思想を定着させるべきです。

※就学支援制度を必要とする学生が以外に多いです。支援制度を利用できる事は親としては本当にありがたいことと思いますが卒業してから返済していく事が安心して勉強できるし返済する事も社会に出てから自身の生活の上で責任としてしっかりする力がつくと思う。

※学生支援に関しては、学園が中心となり大きな成果にむすびつけて頂いたとのこと。学園の努力等に感謝いたします。学生たちの大きな目標・課題は教育現場での知識の習得などと就職にあると思います。就職に際しても多大な努力を頂いているとのことですが、この継続と更なるサポートも併せてお願いいたします。また、奨学金や就学支援を必要とする多くの学生達への支援体制を充実させていただいたとの事で、学生達にも大きな力となったことと推察いたします。

基準 6. 教育環境

行動制限がなくなり、実践で活躍中の外部講師の招聘や企業見学、店舗リサーチなど学園内の机上での学習だけではなく、外部との接触の機会を大幅に増やすことができ、学習効果を上げることができた。デジタル環境の充実により、授業でのInstagramLIVE配信やe-コマースの授業でのWEBサイトの開設など、より実践に即したデジタル教育が実践できた。

基準 6. 教育環境に関する関係者評価

※他の専門学校や大学などの授業見学や店舗リサーチ等でも単なる見学ではなく、企業の担当者との面談をしたり、社内会議(店長会議等)へのオブザーバー参加や企業とタイアップしたインターン制度の導入なども試みたりしたらどうか？

→内定含みのインターンやインターン時の評価制度の確立、卒業単位への繰り入れ。

いづれにしてももう少しシビアな仕組にしないと、校外学習が単なるレクリエーションになってしまう恐れが。

※現在の勉強は昔と違ってデジタル教育が進んでいるので我々には分からない面があると思います。時代に負けず頑張っ、桜丘の学生は素晴らしいと思います。

※外部講師の招聘や企業訪問など校外学習は生徒さんたちにとって、新たな発見などが得られる貴重な機会となることでしょうかから今後も更なる機会の創出・充実を図ってください。デジタル環境の整備にも努められたとのこと、これらも実践に即した授業・生徒達への大きな後援を図ることに成ったことと思います。

基準 7. 学生の募集と受入れ

公式 Instagram のフォロワー数が 1 万 4 千人を超え高校生に適時情報を伝える体制が整った。広報活動に於いても、学びやすい学費の設定、授業内完結型教育、アイドルグループとの提携によるステージ衣装の製作などを前面に打ち出し、ファッション専門課程では、出願者が前年比 274% と好調。デジタル専門課程も紹介制度、指定校推薦制度の活用で出願者 100% の充足を実現できた。

基準 7. 学生の募集と受入れに関する関係者評価

※数は増えたが、入学者の学びへのモチベーションは担保されているのだろうか？

公式 Instagram も、もっと学校の授業内容や就職情報などを盛り込まないと、入学後のモラルダウンにつながってしまっているのではないか？

※宣伝の時代、大いに桜丘の良い面をアピールして下さい。小さいけれど良い教育の学校と言われる桜丘です。

※Instagram のフォロワー数が 1 万 4 千人を超えた、東京の服飾専門学校の中で 2 位とのこと、これは一重に学園・教職員の皆様方の努力の結実と推察いたします。これが出願者の大幅増に結び付いたものと推察いたします。この継続と更なる充実を図ってってください。

基準 8. 財務

学納金のみでの学校経営の実現を目指して、第一には学生数の増加を実現すること。学生数に関しては令和 6 年度に向けて一定の成果を上げることができた。金融資産に於いては、資産効率を上げるべく、資産の入れ替えを実施。日本株式偏重型から米国株式、米国株式投資信託のウエイトを高めた。また株式偏重型から分散投資、安定資産へ資金をシフトした。米国株式、日本株式市場が堅調に推移したこともあり、資産内容の健全化を達成することができた。

基準 8. 財務に関する関係者評価

※特にありません。

※財務基盤の安定が学園（企業）の根幹であり、特に財務関係に於いては、単年度計画だけでなく、中期（5ヶ年）計画にも注力頂き、学園運営の根幹である「生徒数の確保」に注力ください。

基準 9. 法令等の遵守

継続して、文部科学省、東京都、千代田区からの通達や情報は、定例の役員会議、教職員全体会議、教員会議の場で常に情報は共有されている。また、日常では A l r i t C l o u

dを活用して迅速に情報を共有するシステムを活用している。学生のソーシャルメディアの利用に関しても昨年同様、ソーシャルメディアポリシーなどの作成により注意喚起している。

基準 9. 法令等の遵守に関する関係者評価

※特にありません。

※法令を守って正しい学校と言われる桜丘に。

※昨今は SNS など毎日のように法令遵守に反する投稿などを目にするが、学園（企業）に於いては、法令遵守は必須であり、様々な機会を活用しこの弊害などについて注意喚起を実施していただきたい。

基準 10. 社会貢献・地域貢献

学園がステージ衣装製作で提携しているアイドルグループがSDGsを分かりやすく伝える普及活動“ISDGsプロジェクト”に参加している。アイドルグループと協業することで学生のSDGsに対する理解を深めている。また、ファッションビジネス科が主体になり実施している神楽坂の市民文化祭“まち飛びフェスタ”への参加で手作り作品を展示販売し地域住民との交流を深めている。学年末には卒業学生作品展では、学生の作品を学内に展示し、近隣の方々が見学ができる期間を設けて、学園の教育活動への理解を深めている。

基準 10. 社会貢献・地域貢献に関する関係者評価

※合わせて地域の清掃活動や、氏神様や町会事業への協力・参加も推進してはどうか？

富士見町二丁目町会、筑土神社祭礼、子供クリスマス会

浅草橋では専門学校生が揃いの学校の半纏を着て神輿を担ぎます。

※学校の内容その他、新しく良い方向にと感じています。卒業して今まで好きな仕事としてよかったと思います。

※SDGsを分かりやすく伝える普及活動を通じて学生のSDGsに対する理解を深めているとのこと、唯 現在は社会の動きなどが早く、一つの手法に拘泥することなく、様々な手法などを懐に持ち続けてください。近隣地域や社会への関わり、貢献は学園だけでなく生徒さんたちにも貴重且つ大きな体験・財産になることと思います。ご足労も多々あるかと思いますが、継続・更なる充実を図ってください。